

むら いし 村石あつし 富山市議会活動報告



2016年 4月・5月

No.18

発行責任者
富山市議会社民党議員会

村 石 篤

1-(2)市民(総世帯のうち勤労者世帯)
月平均の収入と支出(平成16年)

- 実 収 入 約63万2,000円(うち勤め先 約56万9,000)
- 消費支出 約39万1,000円(A)
- 食 料 約 7万3,000円(B)
- エンゲル係数 食料(B) ÷ 消費支出(A) = 18%



「富山県における学童集団疎開」について講演する須山盛彰先生
(富山近代史研究会理事)
[女性のつどい 平成28年3月6日、呉羽会館]

3月14日 本会議で一般質問

皆さまへのごあいさつ

私は2009年(平成21年)4月、多くの皆さまのご支援とご協力を賜わり、当選をさせていただいてから8年目となります。初心を忘れずに市議会で活動しております。

これまで、皆さまからは、議員活動の心得などについて教えていただきたり、地域の実情や要望について、詳しく説明していただきたりして、大変お世話になっていますことに、心からお礼申し上げます。

平成28年3月定例会では、皆さまからいただいた要望や意見に基づいて、調査と分析を行い、次の4項目について質問しました。

- 1 「樹の子」の廃止が検討されているとの報道を聞いた市民などは、街なかサロン「樹の子」存続に関する要望書(830名の署名を添付して)富山市に提出したことから、街なかサロン「樹の子」の運営事業について、質問しました。
- 2 プレミアム率20%、発行総額は20億円とした、プレミアム商品券発行事業の総括について、質問しました。
- 3 市民病院の医師配置の充実と診療報酬2016年度改定による市民への影響について、質問しました。
- 4 市内の池多地区や音川地区では、平成26年からイノシシの農作物への被害が、甚大となっていることから、イノシシ被害

対策について、質問しました。

村石あつしの市政報告会【第1部】と講演会【第2部】は3月6日(日)、呉羽会館において開催しました。市政報告会の項目は、①富山市民の暮らしの変化について、②平成28年度富山市予算について、③市政、地域などの要望について、④平成29年富山市議会議員選挙について、などありました。

講演会としては、講師の須山盛彰先生(富山市呉羽町在住)から「富山県における学童集団疎開—戦争、子ども、地域と地域の観点から—」の演題で、お話をいただきました。須山先生の著書のまえがきでは、「富山県における学童集団疎開の場合、東京都の子どもたちと付添い、合わせて約1万5000人が短い人で半年、長い人で1年半、親元を離れて富山で暮らしたのである」と記されています。

私は、日本が戦争を始めたから、子供がつらい思いをした学童疎開があったことを知り、平和を守ることの大切さを感じました。

皆さまの声に耳をかたむけ、皆さまの代弁者として、「いのちとくらしを大切に、活力ある富山市を」つくるために、7年間の活動を活かし誠心誠意努力する所存です。市民の皆さん、これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

街なかサロン「樹の子」の運営事業について

村石 街なかサロン「樹の子」の平成26年度入館者数は59,310人であり、「樹の子」廃止は、中央通りの通行量の減少となることから、中心市街活性化基本計画と逆行すると考えるがどうか。

京田都市整備部長 「樹の子」の利用者は、一日平均162人であり、「樹の子」の廃止が歩行者通行量に与える影響は小さいものと考えられることから、「樹の子」の運営を継続する直接的な理由とはならないものと考えている。

村石 街なかサロン「樹の子」の廃止に伴う利用者への周知が必要であると考えるがどうか。

京田都市整備部長 営業主体である株式会社まちづくりとやまからは、チャレンジボックスや飲食チケットの利用者には、営業を終了することを既に伝えていると聞いている。また、その他の利用者にも、店舗入り口で、閉店案内の張り紙を張り付けしたり、富山市及びまちづくりとやまの

3月定例会で可決された主な議案

【主な予算案件】

- ◇平成28年3月富山市一般会計補正予算
予算額 56億692万1千円
(私立保育所等管理運営費7334万1千円、農業
担い手確保経営強化支援事業7876万4千円など)
- ◇平成28年度富山市一般会計予算

【主な条例案件】

- ◇富山市国民健康保険条例の一部を改正する条例
- ◇富山市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

【富山新聞 2016年3月15日】



**患者の定額負担
広報で導入周知**

上田農林水産部長 農業者がわざな猶免許を取得した場合の補助を拡充し、3人が活用した。 村石氏 「樹の子」の廃止に伴い、中央通りで交流、憩いの場の機能を持つ施設が必要だ。 京田都市整備部長 今年度製作した「おでかけつち」を活用して高齢者の行動、一ίーズが把握できれば、施設を整備することはあるかもしれないが、中央通りでなければならぬとは考えていない。

本ホームページでも周知したりしている。

村石 来街者の交流、休憩、憩いの場の機能を持つ施設を、中央通りで確保する必要があると考えるがどうか。

京田都市整備部長 今年度制作した「おでかけっ
ち」を利用し、高齢者のまちなかでどのような行
動をしているのか把握できれば、高齢者のニーズ
に合わせた、最も効果的な場所に来街者の交流、
休憩、憩いの場の機能を持つ施設を改めて整備す
ることはあるかもしれないが、それは、中央通り
でなければならないとは考えていない。

私の考え方と今後の課題

平成28年度から「樹の子」を利用できなくなることが、子どもからお年寄りまでの生活に影響を与えることを、市当局が分かろうとしていないと感じました。私は、「樹の子」の2軒東どなりのセプラビル1階「ほくほくどおり」に休憩所があること知り、「樹の子」の利用者に周知することとしました。

皆さまの市政に対するご意見をお聞かせ下さい。

- 富山市議会社会民主党連絡先 〒930-8510
富山市新桜町7-38 電話(076)443-2153
 - 自 宅 〒930-0161 富山市東老田642
電話・FAX(076)436-5413
 - ホームページ <http://www7b.biglobe.ne.jp/~atushi/>
 - メールアドレス kh4ti2@hma.biglobe.ne.jp



プレミアム商品券発行事業の総括について

村石 プレミアム商品券の利用状況と、個人消費の促進にどのような影響があったのか。

和田商工労働部長 利用状況については、昨年の7月11日から9月30日までの期間中に、総額20億3,328万8千円が利用されている。利用された主な業種の利用額と割合は、①スーパーで8億1千万円余り、約40%、②百貨店等の大型店で6億2千万円余り、約31%、③地域の店舗等で2億円余り、約10%となっている。

また、個人消費の促進の影響については、消費者向けのアンケート調査の結果からの推計では、家電製品や衣類など商品券がきっかけで購入した「新たな消費喚起につながった経済効果」は、約7億7千万円に達したものと考えている。

村石 プレミアム商品券事業の前後には、売り上げが減少する影響が指摘されており、富山市のプレミアム商品券事業にも同様の影響がなかったのか懸念されるが、市当局の考えを問う。

和田商工労働部長 経済産業省の「県内百貨店、スーパーの販売額」及び総務省の「市内の消費支出」の調査数値によると、利用期間の前後となる6月に若干の減少はあるものの、10月には増加するなど、通年的な増減幅で推移していることから、その影響は少なかったものと考えている。

村石 富山市プレミアム旅行商品事業の結果について問う。

和田商工労働部長 「富山市プレミアム旅行商品事業」については、富山市プレミアム商品券実行委員会において、観光客の増加による地域経済の活性化と富山・羽田便の利用促進を図るため、昨年12月から本年2月まで実施してきたところである。この利用実績は、現在、実行委員会でとりまとめ中であるが、速報値として、①1泊2日の旅行ツアー1,292人、②2泊3日の旅行ツアー637人、③ツアー以外の利用者253人の合計2,182人と伺っている。搭乗率を約3.8%押し上げる効果があったことから、航空機の利用促進にも一定程度、寄与したものと考えている。

私の考え方と今後の課題

富山市プレミアム商品券発行事業の国の交付金は、4億5千9百万円余りでした。その予算を低所得者などに対して支給し、消費してもらう方法もあったのではないかと考えます。支給のメリットとしては、①現金収入となることから、全ての商品に使うことができる、②使用期限が無いので、安心である、③消費に使う確率が高い、などである。プレミアム商品券発行事業については、多角的な検証が必要であると考えます。

和田秀俊商工労働部長 プレミアム商品券の発行に関連し、家電製品や衣類など「新たな消費喚起」は、**消費喚起7億円超**

につながった経済効果」は約7億7千万円に達したとの推計を示した。約14億7千万円が食料品など日常の消費に使われたとした。村石篤氏（社民）に答えた。

北日本新聞 2016年3月15日

村石 篤氏
(社民)



東京便利用の旅行助成

科系の総合診療医と内科系の医師を加える。近市民病院事務局長外に、佐近市民病院に新設の救急科、総合診療センターの体制は、搭乗率を3.8%高めた。富山市プレミアム旅行商品事業の結果は、和田商工労働部長全曰空の代金に1人1万円まで助成する事業。昨年末から2月までに2182人が助成を受け、搭乗率を3.8%高めた。

富山市民病院事業について

村石 救急・総合診療センターの医師配置の進捗状況を問う。

左近市民病院事務局長 平成28年度4月からの救急・総合診療センターには、外科系の救急医及び内科系の総合医に加えて、総合診療医を配置したいと考えている。

村石 平成28年度からの紹介状を持たない患者さんへの新たな負担についての対応などについて問う。3月定例会に条例案が出されなかった理由はなにか。

左近市民病院事務局長 ①国からの診療報酬の詳細が示されていないこと、②6か月間の経過措置が設けられたこと、③市民への十分な周知期間が必要であること、などの理由により、今議会では、条例改正の提案を行わなかったものであり、当面は、現状のとおり対応する。

村石 患者さんが市民病院の受診を控えることも考えられるが、当局の考え方を問う。

左近市民病院事務局長 当院へ受診を控えるのではないか、との懸念もありますが、救急患者などの場合、定額負担を求めなくてもよいとの除外規定もあることから、このことを市民に十分周知し、治療が必要な方にしっかりと受診していただけるよう対応する。

私の考え方と今後の課題

受診する科が分からない患者さんには、救急・総合診療センターの医師配置は、安心感を与えることになるとを考えます。紹介状を持たない患者さんへの新たな負担については、近くにかかりつけ医がない地区（小学校校区に医師がない地区）の市民への対策が、必要であると考えます。

イノシシ被害対策について

村石 本市のイノシシ被害の3年間の推移とイノシシ被害対策について問う。

上田農林水産部長 過去3年間のイノシシによる農作物被害の面積及び被害金額は、平成25年が、8.2ha、703万円、平成26年が、7.6ha、747万円、平成27年が、14.3ha、1,344万円であり、被害面積、被害金額とも増加傾向にある。市では、イノシシの捕獲数を増やすことが重要とあると考え、從来からの国の交付金制度により有害鳥獣捕獲として捕獲した場合に支給されている8千円に加え、今年度から、狩猟による捕獲も含めてイノシシを捕獲した場合に1頭につき6千円を支給する市単独の報奨金制度を創設したところである。

私の考え方と今後の課題

電気柵の設置は、ショート防止のための草刈りで作業が増えたり、電気柵未設置の田畠に被害が移ったりしていることです。農家の中には、水稻や野菜の作付けをやめようかと悩んでいる人もいると聞いています。より実効の高い対策を、早急にとることが課題です。

【イノシシ被害の3年間の推移とイノシシ被害対策】

年	被害面積	被害額	被　害　対　策
平成25年	8.2 ha	703万円	電気柵設置、国の1頭8千円の報奨金
平成26年	7.6 ha	747万円	電気柵設置、国の1頭8千円の報奨金
平成27年	14.3 ha	1,344万円	電気柵設置、国の1頭8千円の報奨金、農業者の猟免許を取得した場合の補助拡充、現在まで3名がこの制度を活用
平成28年	—	—	平成27年度の対策に加え、市単独で1頭6千円の報奨金を創設